

やまなし 市議会だより

平成27年 5月22日

第41号



(日下部保育園)

出生率を高めることと、定住の促進を図るための「山梨市健やか育児支援祝金支給条例の一部を改正する条例」等や、“山梨市を活かす”まちづくりのための平成27年度一般会計予算183億5,800万円が可決される。

平成27年3月定例会は、3月2日に招集され、25日までの24日間の会期で開催されました。この定例会では、平成27年度の予算をはじめ、補正予算や条例改正など、市長提出議案52件を審議し、すべての議案を原案のとおり、可決、同意または承認しました。また、諮問についても1件適任と認めました。

おもな内容

議案等審議結果	2～3	常任委員会の審査	9
市政一般質問	3～8	議会活動日誌・編集後記	10

[発行] 山梨市議会 〒405-8501
[発行者] 山梨市議会議長

山梨県山梨市小原西843番地 TEL0553-22-1111(代)
[編集] やまなし市議会だより編集委員会

平成27年3月定例会議案等審議結果

3月定例会議案等審議結果

※議員全員原案に賛成（古屋忠城議長を除く）

条例制定・改正	山梨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例について	山梨市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について	可決
	山梨市総合計画審議会条例及び山梨市総合計画策定条例の一部を改正する条例について	山梨市健やか育児支援祝金支給条例の一部を改正する条例について	
	山梨市行政手続条例の一部を改正する条例について	山梨市立学校体育館等の開放に関する条例の一部を改正する条例について	
	山梨市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び山梨市長等の給与及び旅費条例の一部を改正する等の条例について	山梨市指定地域密着型サービス基準条例の一部を改正する条例について	
	山梨市特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例について	山梨市指定地域密着型介護予防サービス基準条例の一部を改正する条例について	
	山梨市私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例について	山梨市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準条例の一部を改正する条例について	
専決処分	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度山梨市一般会計補正予算（第7号））		承認
補正予算	平成26年度山梨市一般会計補正予算（第8号）	平成26年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
	平成26年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	平成26年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第3号）	
	平成26年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	平成26年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	
	平成26年度山梨市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	平成26年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第4号）	
	平成26年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）	平成26年度山梨市水道事業会計補正予算（第4号）	
新年度予算	平成27年度山梨市国民健康保険特別会計予算	平成27年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計予算	可決
	平成27年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算	平成27年度山梨市簡易水道事業特別会計予算	
	平成27年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計予算	平成27年度山梨市活性化事業特別会計予算	
	平成27年度山梨市下水道事業特別会計予算	平成27年度水道事業会計予算	
	平成27年度山梨市浄化槽事業特別会計予算	平成27年度山梨市病院事業会計予算	
	平成27年度山梨市介護保険特別会計予算		
その他	山梨市道の路線認定変更について	山梨市・甲州市指導主事共同設置規約の変更について	可決
	山梨市老人健康福祉センター指定管理者の指定について	山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散について	
	山梨市デイサービスセンター指定管理者の指定について	山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散に伴う財産処分について	
	山梨市牧丘町デイサービスセンター指定管理者の指定について	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更について	
	山梨市三富町デイサービスセンター指定管理者の指定について	1級市道野背坂線道路改良（その13）工事請負契約について	
人事	教育委員会委員の任命について同意を求める件	監査委員の選任について同意を求める件	同意
	公平委員会委員の選任について同意を求める件	杣口山恩賜林保護財産区管理会財産区管理委員の選任について同意を求める件	
	人権擁護委員候補者の推薦について		認めると

3月定例会提出議案のうち賛否が分かれたものの状況（古屋忠城議長を除く）

※賛：原案に賛成 反：原案に反対

議員名	木内健司	根津和博	武井寿幸	三枝正文	乙黒泰樹	矢崎和也	土屋裕紀	村田浩	深沢敏彦	大竹裕子	大村政啓	飯嶋賢一	古屋弘和	吉田昭男	雨宮巧	小野鈴枝	古屋雅夫	審議結果
山梨市職員定数条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	原案可決
公益的法人等への山梨市職員の派遣等に関する条例及び山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	原案可決
山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	原案可決
平成27年度山梨市一般会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	原案可決

市議会ホームページ上にも掲載していますので、ご覧ください。
(<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/gover/assembly/>)

市政一般質問 (代表・一般)

平成27年3月定例会の市政一般質問が3月17日・18日に行われ、代表質問を3人、一般質問を10人の議員が行い、市政全般について市の考えをただしました。質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

代表質問

新翔会 矢崎和也 議員



〈主な質問と答弁〉

問 平成27年度予算編成に対する考え方について

平成27年度の予算編成に対する市長の考えを伺いたい。

答 市長 望月清賢 「健全な財政運営、積極的な市政運営」を念頭に置き、山梨市を活かすまちづくりのための予算編成を行い、基幹道路及び生活道路の整備事業の充実、観光客誘致や定住促進施策、新規就農者支援事業の拡充、子育て・学校教育・福祉の充実として市立産婦人

科医院の建設、小学校エアコン整備、市民会館・図書館大規模改修事業等を重点施策として位置付けている。

問 豪雪対応マニュアルについて

昨年豪雪の教訓を踏まえ策定された「豪雪対応マニュアル」の概要について伺いたい。

答 市長 望月清賢 昨年の教訓を踏まえ、市の組織が全庁的に対応できる仕組みづくりとして本マニュアルを策定した。基本的に職員用として、配備体制の基準、災害対策本部の設置等、対策本部の人員配置と、各課における所掌業務を全庁的に定めている。

問 地方創生「人口減少対策」について

人口のビジョンを基に「地方総合戦略」を立てると思うが、どの様な戦略を立て人口減少対策とするのか伺いたい。

答 市長 望月清賢 平成27年2月に山梨市創生推進本部を立ち上げ、人口推計を基に人口減少の克服等を各種データ分析を行い、将来展望を「山梨市人口ビジョン」として定め、ビジョンに対する施策等を位置付ける「山梨市版総合戦略」を平成

27年度中に策定していく。本市の戦略については、チャレンジミッションにおいて具体化した事業が、人口減少など様々な課題を克服するための取組として策定しているもので、総合戦略に位置付けをする大きな施策となる。

問 子ども・子育て支援について

「子ども・子育て支援事業計画」の特色と、どの様な子育て支援の取組をするのか、また新規事業について伺いたい。

答 福祉事務所長 里吉幹夫

子育て支援関連の事業について新事業に継続すべき事業かの精査を行い、来年度から「子育て支援課」を設置して「子ども子育て支援事業計画」に基づき取り組んでいく。保育事業等とはより、「子育て世代包括支援センター」を整備して総合的相談支援を提供する予定である。

問 東山梨駅付近の跨線橋事業に伴う、東山梨駅周辺整備と道路延伸について

駅周辺のまちづくりと、市道の延伸計画の現在の状況について伺いたい。

答 市長 望月清賢

東山梨駅周辺は商業の集積等を目標にしており、交通拠点の強化を図ることとしている。跨線橋事業を推進するにあたり最重要課題となる薬師川踏切道の取り扱いは、車両通行規制踏切道として存置する方向でJRと協議し、駅周辺整備の検討を推進していく。また、甲州市の塩山バイパスまでの間の整備を甲州市と協議し、概略ルート案を作成中である。今後もルート決定に向け事業推進していく。

＜その他の質問＞ ●チャレンジミッションについて ●自助・共助体制の強化について ●旧市役所跡地の利活用について ●特養入所待機者の実態と解消策について

市民の会 深沢敏彦 議員



＜主な質問と答弁＞

問 平成27年度以降の大型事業の規模と財源措置及び、平成27年度の財政健全化の目標値について

以下5プロジェクトの事業規模について伺いたい。
①市民会館の耐震工事と図書館の増築事業について
②小学校へのエアコン設置、4小学校の統合と学校給食施設の事業について
③山梨市駅新駅舎と連絡通路及び駅南地域の整備について
④市道「落合・正徳寺線」の整備事業について
⑤産科医院建設事業について

答 市長 望月清賢

①期間については1月下旬から設計業務に着手しており、概ね平成28年12月までに完了させたい。事業費総額は約14億円で、平成26年度から継続費を設定している。財源は一般財源、社会資本整備総合交付金と合併特例債を見込んでいる。

②エアコン設置は、平成27年度と平成28年度で設置が完了する予定である。加納岩小学校他5校の設置費3億8700万円余と、次年度設置する小学校の設計委託料を予算計上した。財源内訳は学校施設環境改善交付金と合併特例債を活用する計画である。小学校統合に関する予算は、統合準備会での検討結果に基づき予算計上する。学校給食施設

については、市議会議員で組織する検討委員会から「学校給食施設の在り方についての提言」が提出されたので、この提言を尊重し、出来るだけ早くに市の方針を決定したい。建設費用は学校施設環境改善交付金を活用する予定である。

③新駅舎関連は、昨年11月末に基本設計が完了した。平成27年度はJR東日本に実施設計を委託し、全体概要と平成30年までのスケジュールを明確化し、完成予想図や総事業費を公表できるよう進める。駅南地域整備事業は、駅前広場や街路等の整備を行い、平成30年度の完成を目指し、事業費は新駅舎と同時期に提示の予定である。

④事業計画期間は平成17年度から平成31年度である。供用を開始している第1期工事区の事業費は4億2900万円余で、現在進行中の第2期工区の跨線橋架設工事は、本年度にJR東日本八王子支社と、施工協定を締結して、JRに施工を委託する。第2工区の総事業費は約12億円を見込んでおり、財源は社会資本整備総合交付金、合併特例債と一般財源を予定している。

⑤現在設計についての前提となる基本構想を策定中で、早期に基本構想をお示しい。基本構想を受け、基本設計・実施設計を平成27年度に、建設を平成28年度に行い、完成は平成29年3月を目標としている。事業費は現段階において、基本構想における配置計画及び規模等が明確になっていないので具体的な数値は出せないが、概ね約8億円と試算している。財源は合併特例債、医療施設等整備補助金を考えている。

財政健全化の目標値については、実質公債費比率は12%前後に改善されると思われる。将来負担比率の数値は上昇するが、早期健全化基準の数値を上回ることはないと見込んでいる。普通交付税の段階的削減と、がんばる地域交付金の終了により、減収となることから財政調整基金を活用するため、基金残高は41億円程度になる見込みである。

＜その他の質問＞ ●医療費適正化に向けた取組について ●農業の振興・担い手対策について ●マイナンバー制度について

について

山友会
古屋弘和 議員



〈主な質問と答弁〉

問 市長の政策理念について

答 市長 望月清賢

「住民の生命を守る」、「市民に幸せ感を与える」、「愛郷心を育む」を政治理念としている。その理念を礎に、重点施策であるチャレンジミッションに基づき市政運営に邁進していく。

問 山梨市次世代エネルギーパークについて

エコハウスやまなしに関して、以下の項目について伺いたい。
①年間の維持管理費について
②年間の入場者数と来場の目的、また、市外や県外からの来場者はどの程度いるのかについて

答 市長 望月清賢

①年間の維持管理費はおよそ370万円である。

②平成26年度の来場者数は、およそ800人で57%が市内の方、26%が県内他市の方、17%が県外の方である。来場の目的は「新築や改築などの参考に来られた方」が多い。
③経年により来場者数が減少している。

④建築・設備の技術革新に沿った新技術の解説や、エコに関する新たなイベントの開発など効果的な運営を続ける。

問 山梨市駅南地域整備事業について

①山梨市駅南線道路改良工事を進めるに当たり生ずる課題について
②山梨市駅南口整備事業を進めるに当たり、施設や景観づくりにおける北口との整合性について
③既存の観光施設や工場等の活用策について

答 市長 望月清賢

①用地買収の範囲について、現道の西側拡幅が主であり、背後にワイン工場が立地する状況から、代替地の確保が最大の課題である。
②駅南のコンセプトを市民アンケートの結果を踏まえ「果物の実りと人々の笑顔でにぎわう街」と定め、両地域の整

合性を高めるため、駅北地域が持つ商店力、街の駅、総合病院などが、一体化する整備となるよう努めていく。
③駅南地域の既存工場との共存を図り、重要な地域資源である下神内川3分水、かのがわ古道などの保全に努め、根津記念館や万力公園と連携する新たな周遊コースを策定していく。

問 南反保地域のまちづくりについて

都市計画マスタープランでは、適正な整備の手法を検討するとしている。地元の意見を待つのではなく、行政が主体となって提案することも必要ではないかと考えるがいかがか。

答 市長 望月清賢

南反保地域は、恵まれた立地条件を生かす土地利用や住環境の確保等の面からも、計画的で総合的なまちづくりが求められており、平成19年度策定の山梨市都市計画マスタープランの整備方針では、道路密度が余りに少ないため、土地区画整理事業や地区計画等を活用した一体的な市街地整備の手法により促進を図るものとしている。具体的には、地域の皆様方と話し合いが重要であり、意識調査のアンケ

一般質問

日本共産党
吉田昭男 議員



ートなどの手法を取り入れて、地域の問題点の抽出を進めてきた。現段階ではリーダーづくりを含め地域の組織化が困難な点があるが、今後の進め方として地域に継続的にまちづくりを進める組織の構築が必要不可欠と考えている。
〈その他の質問〉 ●市民農園・グリーンツーリズム事業について ●子ども子育て新支援制度について ●市役所の組織変更について

答 市長 望月清賢

①自治体への移行は制度を維持するには必要である。
②平成29年度までに新しい総合事業を実施する。移行期間中に多様なサービスを検討する。また特別養護老人ホーム1施設を整備する。③市のホームページへの掲載や制度改正の内容の「わかりやすい利用の手引き」を作成し、各地域での説明会も検討する。
④繰入金は介護給付費12.5%を越えてはならないと定められている。

問 子ども子育て新支援制度について

①新制度実施に伴い保育料が値上がりしないように求める
②山梨市の保育所及び幼保連携型認定子ども園の整備に関する計画について
③保育を必要とする要件と、保育時間の設定について

答 福祉事務所長 里吉幹夫

①市では国の基準に基づき保育料を設定しているため、収入金額等が変わらなければ変更はない。②幼保連携型認定子ども園の整備に関する計画は、待機園児がいる市町村では計画策定が必要とされているが、待機園児が山梨市にはいないので策定しない。③

問 介護保険改悪を中止し制度の維持発展を求める。

①要支援1、2の自治体への移行の撤回を求める。②介護予防サービスの改善と充実、高齢者施設の充実を求める。
③第6期介護保険事業計画の周知を求める。④一般会計からの繰入を増やし保険料の引き下げを求める。

保護者の就労時間は月48時間。保育時間の設定は、保育標準時間11時間か保育短時間の8時間で設定する。
 〈その他の質問〉●街灯のLED化の推進と電気料の助成を●山梨市交通・火災災害共済の拡充について

市民の会

小野 鈴枝 議員



〈主な質問と答弁〉

問 山梨市民会館耐震大規模改修事業及び新市立図書館建設事業について

市民会館は改修事業に伴い1年間休館となる予定とのことだが、その間の利便性を図る方法は無かったのか。また、計画にはレストランが含まれていないが、考えを伺いたい。新図書館建設事業の財源内訳について伺いたい。

市長 望月清賢

答 市民会館の耐震改修と図書館整備は、同じ建物内での工事となるので休館せざるを得ない。レストランについては、図書館建設有識者会議から図書館エリアを出来るだけ

確保するようにとの答申があり、レストランは設置せず1、2階を図書館として整備する方針である。財源は、合併特例債と一般財源を考えている。

問 人口減対策としての山梨市の魅力について

ふるさと暮らし情報センターの利用者を対象とした移住希望調査では、山梨県は昨年1位に躍進とある。これを人口減の対策の好機と捉え、行動に移してはと思うがいかがか。

市長 望月清賢

答 県内においての希望地域は郡内、峡北地域に集中しているため、まずは本市の魅力を知っていただくため企業、個人向けにモニターツアーを実施するなどし、東京からの近さという立地面を活かし移住者の確保に努めたい。

策について

市民の会

古屋 雅夫 議員



〈主な質問と答弁〉

問 「ワイン特区」によるまちづくりについて

どこの農家でもワインが作れ、販売できる特区により、6次産業化も合わせた「地域づくり、まちづくり」の検討を。

市長 望月清賢

答 市の主要農産物であるブドウを利用した6次産業化の推進、地産地消の推進、雇用の創出など、地域の活性化が図られると思うので検討していく。

問 学校周辺の街灯のLED化事業の推進について

通学路の安全確保の観点からも、街灯のLED化を推進する必要がある。平成27年度の事業計画と予算について伺いたい。

市長 望月清賢

答 平成27年度は、日下部地区などを対象に75箇所を予定し、225万円予算計上を行い、今後も計画的に取り組みたい。

問 過疎地における除雪機の購入に向けた検討結果について

市長をかこむ座談会等でも過疎地への除雪機配備要望が出されており、当該地の住民にとっては切実な願いである。課題は財政措置であると思われるが、どのように検討しているのか伺いたい。

市長 望月清賢

平成27年度中に、除雪機購入計画等を組み込んだ「過疎計画」の見直しに取り組み、配備計画を検討したい。

〈その他の質問〉●「ふるさと納税制度変更」に伴う、協働による特典並びにPRの強化について●保育園等の完全給食の実施に向けて●牧丘・三富地域における小学校の統合に向けて

山友会

大村 政啓 議員



〈主な質問と答弁〉

問 過疎地域における道路整備について

現在事業推進中の野背坂線について伺いたい。
 ①今までの総事業費について
 ②財源内訳について
 ③工事の進捗状況について
 ④今後のスケジュールについて

市長 望月清賢

答 ①用地買収費、補償費、設計等の委託費、工事費を合わせた総事業費は、11億500万円余である。②国の交付金が6億2600万円余、県

からの負担金2億4200万円余、合併特例債が2億2300万円余、一般財源が1400万円余である。③進捗率は90パーセントである。④平成27年度は残りの改良工事を実施し、平成28年度は、一部法面工事を行い、塗装や安全施設を施し、全線開通となる。

問 小規模校の統合の方向性と、今後開校に向けてのスケジュールについて

教育長 丸山森人
 平成27年6月から、牧丘三富地域小学校統合準備会を開催して、学校の位置、校名、校歌などを協議し、新しい小学校を開校するための、統廃合に関わる条例案と統合に必要な予算案などを、平成27年12月市議会に上程する予定である。その後、県に対して手続きや申請を行い、平成28年4月1日に開校式を行う。

〈その他の質問〉●公共施設等総合管理計画策定事業について●市長を囲む座談会について

新翔会
土屋裕紀議員



〈主な質問と答弁〉

問 都市計画道路見直し内容について

12路線全てを見直すのか。進捗状況と今後のスケジュール及び既存計画の修正・変更をどのように考えているか。

答 市長 望月清賢
12路線全てにおいて評価し、見直しが想定される4路線と現状検討する2路線併せて6路線を抽出した。平成27年度は6路線の方向付けを行い、平成28年度には地域別住民説明会などを行い原案を作成する。広域的道路網整備には3年から5年を目安に修正を視野に入れた検証が必要。

問 国道411号について

①日川橋の長寿命化計画の位置づけ。②一町田中交差点の一刻も早い改善③緊急輸送路として役割を果たすための改良④日川右岸の堤防道路について交通安全、防災、防犯面から今後どのような取り組みを検討しているか。

答 市長 望月清賢
①耐震補強工事が完了している。②改善の方策として地域の合意形成を図る事が重要。③地域の合意形成を踏まえ県に要望する。④河川管理用道路を市が県より借り受け利便性の向上を図っている。総合的に地域の意見を聞き関係機関と協議していきたい。

問 水路整備の計画策定の考えについて

長期計画に基づく段階的な改修が必要と考えるか。農林商工課長 若月 清

答 農林商工課長 若月 清
地元区からの整備要望は56箇所ある。水路断面の大きい箇所は、整備方針や整備計画の策定を図っていく。

〈その他の質問〉●山梨市ホームページの改善について●通学路の安全対策について



山友会
飯嶋賢一議員

問 旧畑地帯総合整備事業農道38号線について

農道38号線は、事業が一部を残して終結してから10年にな

る。地域からは道路の必要性が改めて認識され、市に対して事業再開の早期実現に向けた陳情が昨年12月18日になされた。陳情以降の取組状況や、事業再開の見通しについて伺いたい。

答 市長 望月清賢
地元の熱意と尽力により用地の協力体制が整ったことを受け、県に対して事業採択をお願いするとともに、県市長会に対しても市の重点事項として要望している。県も国に対して今後要望を行っていく旨を確認している。国において新規事業が創設された際には、長期的にはなるが積極的な取組を図っていきたい。

問 西関東連絡道路開設に伴う側道設置について

西関東連絡道路開設に伴い、農地や道路が分断されたことで、営農や交通に不便をきたしている。地元区では既に、一部側道設置の要望書を、市を通じて提出しているところであるが、現在の状況を伺いたい。

答 建設課長 清水一彦
地元区からの要望を受け、市では県に要望するとともに側道設置に係る地権者の同意書を本年2月16日に県に提出

した。県は明年度中には用地補償契約を終え、平成28年度末までには工事を完了する予定とのことである。今後は、早期に側道が完成するよう県に働きかけを行う。

〈その他の質問〉●市立産婦人科医院の建設について

新翔会
三枝正文議員



問 独居老人対策と老人クラブの活性化について

①独居老人対策についての市の取組について伺いたい。
②老人クラブ活性化に向けた取組について伺いたい。

答 市長 望月清賢
①市では「ひとり暮らし高齢者台帳」を整備し、見守り活動に役立てている。また「ふれあい・いきいきサロン」や「高齢者友愛訪問」などを実施し「ミニデイサービス」「配食サービス」「ふれあいペーダント」等の支援を実施している。

②老人クラブ活性化には、活動周知のための情報発信、組

織をまとめるためのリーダーの育成などが必要と考えている。

問 「成年後見制度」と「市民後見人養成」について

成年後見制度について後見人の担い手不足が懸念されている。そこで期待されているのが一般の市民が後見人を務める「市民後見人」であり、サポート体制を自治体がつけていく事が必要である。市長の考えを伺いたい。

答 市長 望月清賢
今後、少子高齢化や核家族化の進行などにより、親族による後見人受任の割合は低下していくことが予想され、認知症高齢者などの増加に伴い、後見人の需要が高まることから、専門職後見人の不足が予想される。市としては市民後見人の育成については、選任後の不適切な後見業務を防止するための支援・監督体制について今後検討委員会を設置し協議を行い、その上で成年後見制度を必要とする方の地域での生活を支える仕組み作りを検討したい。

〈その他の質問〉●学校等の統廃合後の建物や敷地の有効活用について●保育園の指定管理者制度の導入計画につい

て
山友会
根津和博 議員



〈主な質問と答弁〉

問 空き家対策について

防災上管理が不十分な空き家が、問題を引き起こしている。「空き家管理条例」を制定し適切な管理を行ってはいかがか。

答 市長 望月清賢

住民から苦情等が寄せられた場合には、空き家の所有者に適正な管理を文書等でお願いしてきたが、管理がされずに放置されることも多く、本市だけでなく、全国の自治体においてもその対策に頭を悩ませており、国による法整備が求められてきた。このような背景から平成27年2月26日に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、立入調査や所有者を把握するための固定資産税情報の内閣利用も可能となり、市としては、関係する課と法律に基づく措置などを踏まえての実態調査等と併せ、空き家条

例の制定を検討していく。

問 「地域おこし協力隊」、「集落支援員」制度の活用について

「地域おこし協力隊」を本市でも活用してはいかがか。併せて「集落支援員」制度の活用も検討してはいかがか。

答 政策秘書課長 小林勝正

中山間地の農業経営者の高齢化と後継者不足は深刻であり、経営の安定と荒廃農地解消に、都市圏から意欲ある若者を協力隊員として人材の確保に努めることも必要である。今後は、「集落支援員」制度も含め本市の魅力を引き出す施策として検討していく。〈その他の質問〉市疾病予防対策実施計画の進捗について

大竹裕子 議員



〈主な質問と答弁〉

問 健やか育児支援制度について

第3子以上の子を出産した保護者への祝い金を10万円から20万円に増額するとしているが、第1子からの支援の充実

を望むかがいかか。

答 市長 望月清賢

健やか育児支援事業は、5年間の検証期間を設けている。その間に、第1子・第2子についても検討を行い、必要であれば見直しをする予定である。

問 発達障害児の教育支援について

本市の児童、生徒が減少する中、支援を必要とする子どもは増加傾向にあるとのことである。支援を必要とする子ども達が学校生活に馴染むための特別教育支援員は重要な役割となつている。平成26年度は、特別教育支援員19人の配置であったが、新年度は支援が必要な子供が増えるとの聞いている。特別教育支援員の増加は計画されているか伺いたい。

答 学校教育課長 雨宮一昭

児童、生徒数は減少傾向にあるが、支援を必要とする児童、生徒は逆に増えている状況である。この状況の中で特別教育支援員を市が任命して学校教育を進めている。特別教育支援員の人数は、平成26年度は、支援を必要とする生徒の増加を考慮して、3人増やして19人で運営していた

が、平成27年度は1人増やして、20人体制で運営を行う予定である。

〈その他の質問〉●地方創生戦略推進への本市の考えについて ●ふるさと納税と地域おこし並びに観光PRについて ●地域活性化の拠点作りとしての「道の駅」のあり方について

新翔会
乙黒泰樹 議員



〈主な質問と答弁〉

問 山梨市の在宅ケアについて

病院に通うことが難しく社会的援護を必要とする方々に対して、医療サービスを提供する在宅ケアについて、これまでの山梨市の取組と今後の展望について伺いたい。

答 市長 望月清賢

これまででも市内の医療機関では市医師会の協力のもと、在宅医療に熱心に取り組んでおり、定期的に関係機関との連絡会を開催しており、入院患者が退院する際には、必要な医療及び介護の支援体制に

ついて地域包括支援センターも関わる中で、適切な対応ができるよう本人や家族に支援をしている。今後はより一層地域包括支援センターが、医療機関や介護保険事業所との連携を取っていくと共に、在宅ケアについて普及啓発を図っていきたい。

問 「公共施設等総合管理計画」の策定について

「公共施設等総合管理計画」の内容と策定期間について伺いたい。

答 財政課長 古屋貴章

町村合併や人口減少による余剰化問題は深刻である。公共施設の構造等の基礎情報、建築年や稼働率、ランニングコスト等の情報から施設の現状を把握していき、財源の見込み、人口の見通しを踏まえ施設の数量等の適正規模を分析していき、どのように公共施設を管理していくか、基本的な方針を定めていく。平成28年度に公表予定である。〈その他の質問〉●防犯灯のLED化について ●ふるさと納税の充実について

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は3月9日、19日、23日に開催され、付託議案について慎重に審査が行われました。質疑の要旨（抜粋）は次のとおりです。

総務

○議案第二十七号、平成27年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 算定替えにより交付税が減額となるようである。

国の方針として緩やかに見直すといわれるが、どの程度に緩やかになるのか。

答 国においては、市町村合併に伴い行政経費の節減ができると考えていたが、合併によって、市の区域が広がったことにより、実際には経費がかさむという状況を受けて、算定方法の見直しを行うことは示されている。しかし、どの程度緩やかになるかは不明である。

問 防犯灯を全てLED化するのであれば、単年度の予算を増やして進捗を図るべきではないか。また、地域を

決めて集中的にLED化を進める方が効果的ではないかと考えるかがか。

答 全体で約2百基の更新を区に対して1年に2基ずつ更新する予定であるが、今後は増やすことを検討したい。なお、地域を決めて集中的に更新することについては、一部補助のため各区の負担もあることから難しい。



総務常任委員会での審査の様子

総務常任委員会
委員長 大竹裕子
副委員長 三枝正文
委員 古屋忠城 根津和博
深沢敏彦 吉田昭男

建設経済

○議案第二十七号、平成27年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 山梨市親元就農支援補助金の目的について

答 農業従事者の高齢化及び後継者不足が急速に進む中、本市農業における将来の担い手の確保及び育成を図ることを目的としている。

問 万力大橋耐震補強・補修工事は何年度に完了する予定か、また橋梁長寿命化の対象は何件あるのか。

答 万力大橋は、平成28年度完成予定である。また対象となる橋は、378件あり優先順位をつけて行っていく。

要望事項

◆人口の流出問題が続くなか、働く場所の確保が重要と考えられる。企業立地促進の取組を積極的に検討すること。

現地調査として、万力大橋耐震補強・補修工事箇所及び、県営畑地帯総合整備事業万力地区の視察を行った。



県営畑地帯総合整備事業万力地区の視察の様子

建設経済常任委員会
委員長 古屋弘和
副委員長 矢崎和也
委員 土屋裕紀 村田浩
大村政啓 雨宮巧

教育民生

○議案第十一号山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について

問 本条例を改正する目的について

答 要介護認定者が年々増加しているため、介護保険料を増額改定させていただく内容であり、平成24年度から平成26年度までの、第5期を改め、平成27年度から平成29年度の、今後3ヵ年における、第6期の介護保険料を定めるもので、今回は所得に応じた対象者の階層の変更と、保険料の変更を行う。

介護保険料の基準額について、他市との比較は山梨市の保険料基準額については、月額5千500円であり、他市は笛吹市が5千618円、甲州市が5千466円を予定している。

問 介護保険料の基準額について、他市との比較は山梨市の保険料基準額については、月額5千500円であり、他市は笛吹市が5千618円、甲州市が5千466円を予定している。



教育民生常任委員会での審査の様子

教育民生常任委員会
委員長 古屋雅夫
副委員長 武井寿幸
委員 木内健司 乙黒泰樹
飯嶋賢一 小野鈴枝

議会活動日誌

3月

- ……平成27年3月定例会(2日～25日)
- ……山梨県市議会議長会新会長就任挨拶(3日)
- ……山梨市緑化推進委員会総会(4日)
- ……矢坪公民館落成式(7日)
- ……議会運営委員会(10日、24日)
- ……議員全員協議会(10日、24日)
- ……市内各中学校卒業式(11日)
- ……市内各小学校卒業式(20日)
- ……山梨市誕生十周年記念式典(20日)
- ……春季山梨市少年野球大会開会式(22日)
- ……つつじ幼稚園卒園式(24日)
- ……やまなしウッドチップ
協同組合新工場落成式(26日)
- ……議友会総会(26日)
- ……山梨市中小企業労務改善協議会
「永年勤続優良従業員表彰式」(29日)
- ……民生委員推薦会委員委嘱式及び推薦会
(30日)

4月

- ……信玄公祭り山梨市隊出陣式(4日)
- ……市内各小学校入学式(6日)
- ……J A フルーツ山梨山梨支所
マンモス共選所竣工式(7日)
- ……市内中学校入学式(7日)

4月

- ……下神内川菜の花の会 缶灯籠点火式(9日)
- ……日下部地区老人クラブ連合会
第42回福祉大会(11日)
- ……山梨県市議会議長会定期総会(14日)
- ……山梨県議会議員一般選挙における
当選証書付与式(14日)
- ……山梨市少年柔道招待試合(19日)
- ……山梨市建設協力会通常総会(21日)
- ……山梨市戦没者合同慰霊祭(23日)
- ……山梨市食生活推進員会定期総会(24日)
- ……万葉うたまつりとホテル観賞会実行委員会
(27日)
- ……議会運営委員会(28日)
- ……議員全員協議会(28日)
- ……認知症サポーター養成講座(28日)
- ……議会だより編集委員会(28日)
- ……山梨市体育協会総会(28日)
- ……西沢溪谷山開き及び山岳指導所開所式
(29日)
- ……巨峰の丘マラソン大会実行委員会(30日)
- ……山梨市民生委員児童委員協議会定期総会
(30日)

5月

- ……山梨市自衛隊協力会定期総会(1日)
- ……障害者福祉会総会(19日)



平成27年4月28日に、認知症サポーター養成講座を受講しました。

平成27年2月12日に学校給食施設の在り方検討委員会終了後、大竹裕子委員長が古屋忠城議長に検討結果を集約した報告書を提出しました。報告書は山梨市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

編集後記

季節の移ろいは、初夏の訪れを感じさせる今日この頃、皆さまにはお元気で過ごしのことと拝察申し上げます。ここに議会だより第41号をお届けいたします。議会だより編集委員全員でより一層充実した内容の議会だよりを編集し、解りやすく親しみを感じる紙面づくりに一生懸命努力して参りたいと思います。市民の皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

議会だより編集委員会

- 委員長 大竹 裕子
- 副委員長 古屋 雅夫
- 委員 古屋 忠城
- 飯嶋 賢一
- 木内 健司
- 飯嶋 賢一
- 古屋 弘和

6月定例会開催予定

- 1日(月) 開会
- 18日(木) 代表質問
- 19日(金) 一般質問
- 22日(月) 常任委員会
- 23日(火) 常任委員会
- 26日(金) 閉会

※全日程午前10時から開会予定